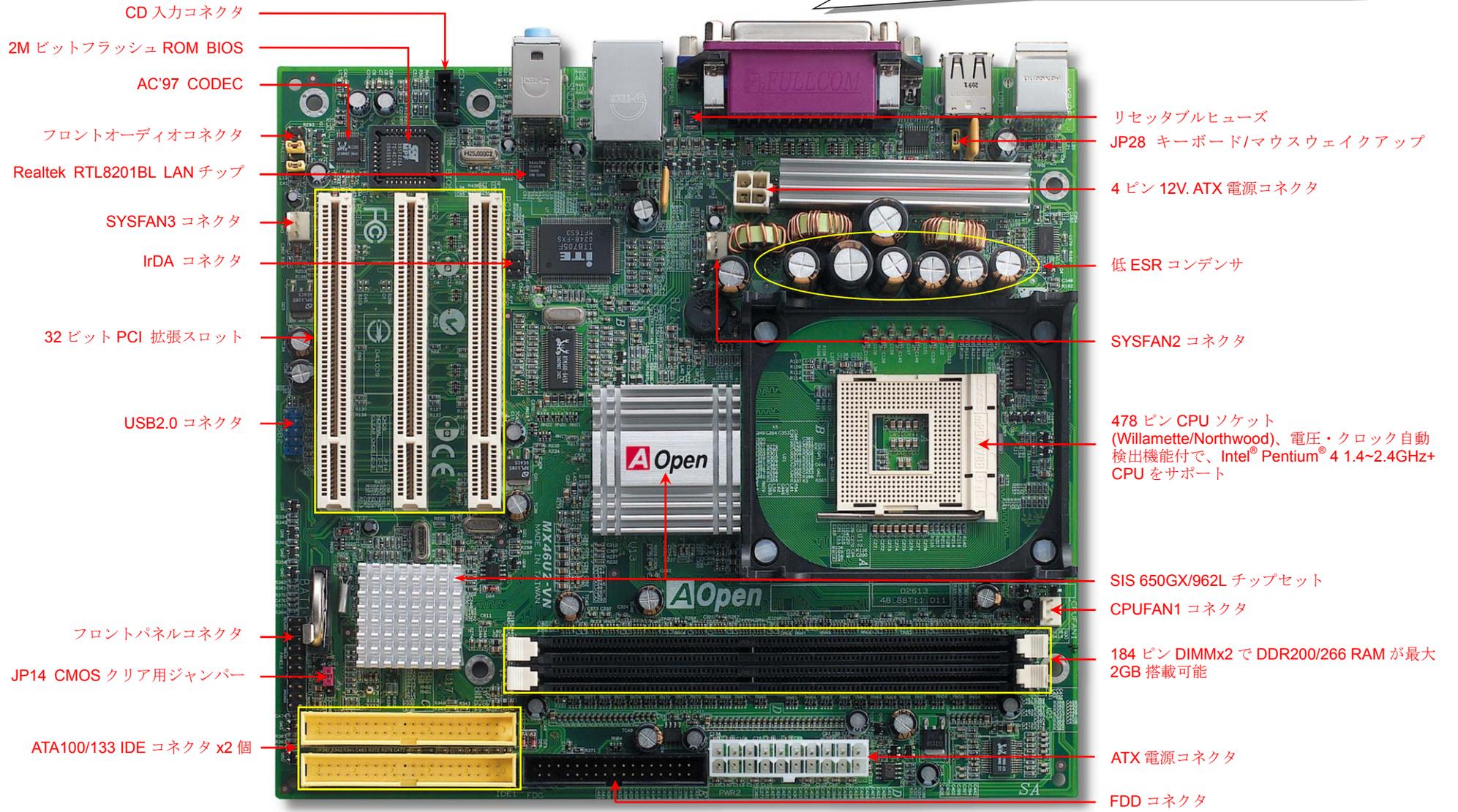
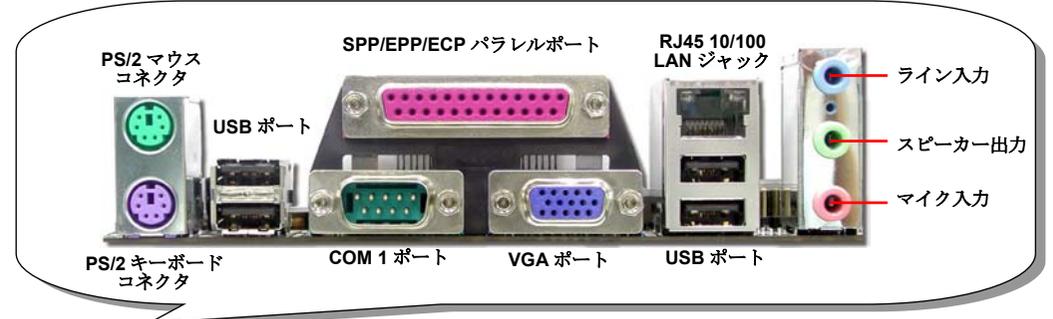


MX46U2-VN

イージーインストールガイド



インストールの準備



このマザーボードをインストールするのに必要な情報は全てこのイーージーインストールガイドに載せられています。更に詳細な内容についてはオンラインユーザーズマニュアルが Bonus Pack CD ディスクに付属しています。地球の環境保護へのご協力に感謝いたします。

付属品チェックリスト

- ✓ 当マザーボード x1 式
- ✓ 当イーージーインストールガイド x1 式
- ✓ 80 芯線 IDE ケーブル x1 本
- ✓ フロッピーディスクドライブケーブル x1 本
- ✓ 製品登録カード x1 枚
- ✓ ボーナスパック CD x1 枚



PART NO: 49.88T01.J01

DOC. NO: MX46U2VN-EG-J0303A

1. JP14 による CMOS クリア

CMOS をクリアすると、システムをデフォルト設定値に戻せます。以下の方法で CMOS をクリアします。

1. システムをオフにし、AC コードを抜きます。
2. コネクタ PWR2 から ATX 電源ケーブルを外します。
3. JP14 の位置を確認し、2-3 番ピンを数秒間ショートさせます。
4. JP14 を通常動作時の 1-2 ピン接続に戻します。
5. ATX 電源ケーブルをコネクタ PWR2 に差します。



1 番ピン



正常動作時
(デフォルト)



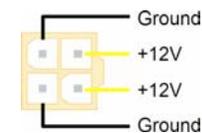
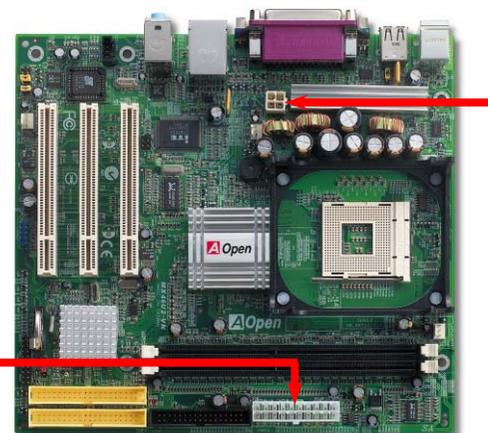
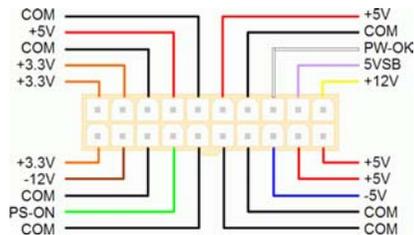
CMOS
クリア時

ヒント：CMOS クリアはどんな時に必要？

1. オーバークロック時の起動失敗...
2. パスワードを忘れた...
3. トラブルシューティング...

2. ATX 電源コネクタの接続

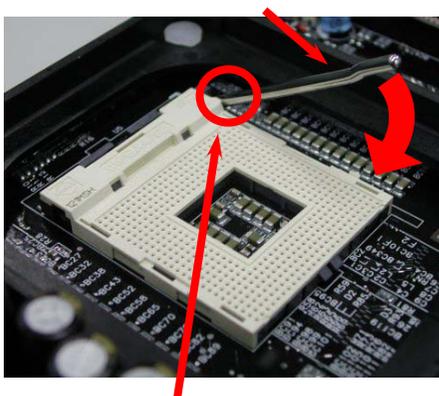
このマザーボードには下図のように 20 ピンおよび 4 ピンの ATX 電源コネクタが使用されています。差し込む際は向きにご注意ください。20 ピン ATX 電源コネクタより先に 4 ピン 12V ATX コネクタを接続することを強くお勧めします。



3. プロセッサのインストール

このソケットは Intel で開発された最新の CPU パッケージである Micro-FC-PGA2 パッケージ CPU に対応しています。その他形式の CPU パッケージは取り付けられません。

CPU ソケットレバー



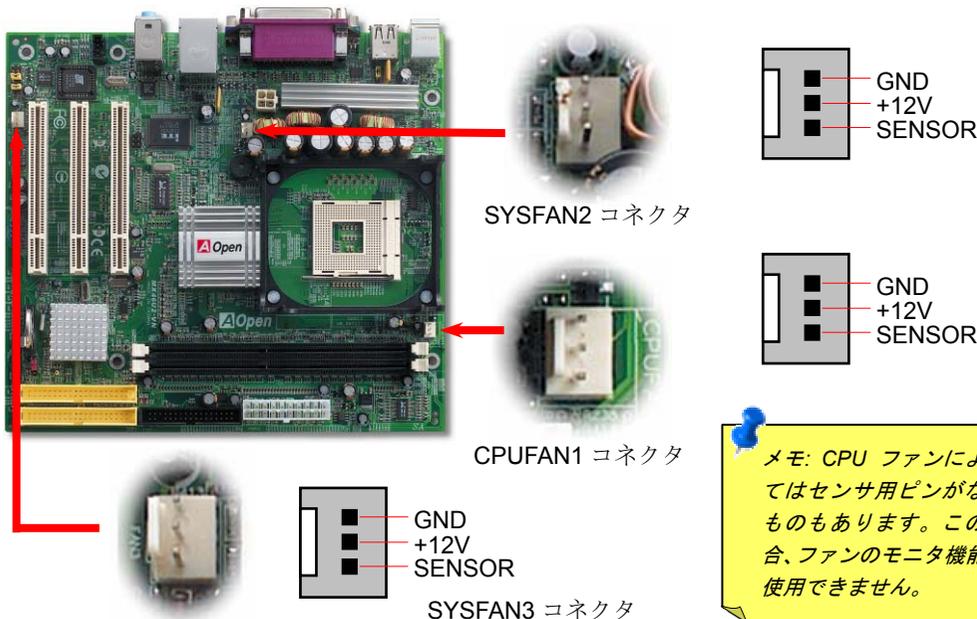
CPU の 1 番ピンと面取り部

1. CPU ソケットレバーを 90 度引き起こします。
2. ソケットの 1 番ピンの位置および CPU 上部の (金色の) 面取り部を確かめます。1 番ピンおよび面取り部を合わせます。この方向で CPU をソケットに差し込みます。
3. CPU ソケットレバーを水平に戻すと、CPU のインストールは完了です。

ご注意: CPUソケットの1番ピンとCPUの面取り部を合わせないと、CPUに損傷を与えます。

4. CPU およびシステムファンのインストール

CPU ファンのケーブルは 3-ピンの CPUFAN1 コネクタに差します。ケースファンを使用される場合は、ケーブルを SYSFAN2 または SYSFAN3 コネクタに接続します。



メモ: CPU ファンによってはセンサ用ピンがないものもあります。この場合、ファンのモニタ機能は使用できません。

5. CPU 電圧およびクロックの設定

CPU コア電圧の設定

このマザーボードは CPU VID 機能をサポートしています。CPU コア電圧は自動検出されます。

CPU クロックの設定

このマザーボードは CPU ジャンパー不要設計なので、CPU クロックは BIOS セットアップから設定可能で、ジャンパースイッチ類は不要です。デフォルト設定は "table select mode (対応表から選択)" です。オーバークロックには、FSB は "CPU Host/SDRAM/PCI Clock" から設定可能です。

BIOS Setup > Frequency / Voltage Control

CPUレシオ	8x, 10x... 21x, 22x, 23x, 24x
CPU FSB (BIOS対応表による)	90-200MHz.

Northwood CPU	CPUコア クロック	FSB ク ロック	システ ムバス	レシ オ
Pentium 4 1.6G	1600MHz	100MHz	400MHz	16x
Pentium 4 1.8G	1800MHz	100MHz	400MHz	18x
Pentium 4 2.0G	2000MHz	100MHz	400MHz	20x
Pentium 4 2.2G	2200MHz	100MHz	400MHz	22x
Pentium 4 2.4G	2400MHz	100MHz	400MHz	24x

Willamette CPU	CPUコア クロック	FSBク ロック	システ ムバス	レシ オ
Pentium 4 1.5G	1500MHz	100MHz	400MHz	15x
Pentium 4 1.6G	1600MHz	100MHz	400MHz	16x
Pentium 4 1.7G	1700MHz	100MHz	400MHz	17x
Pentium 4 1.8G	1800MHz	100MHz	400MHz	18x
Pentium 4 1.9G	1900MHz	100MHz	400MHz	19x
Pentium 4 2.0G	2000MHz	100MHz	400MHz	20x

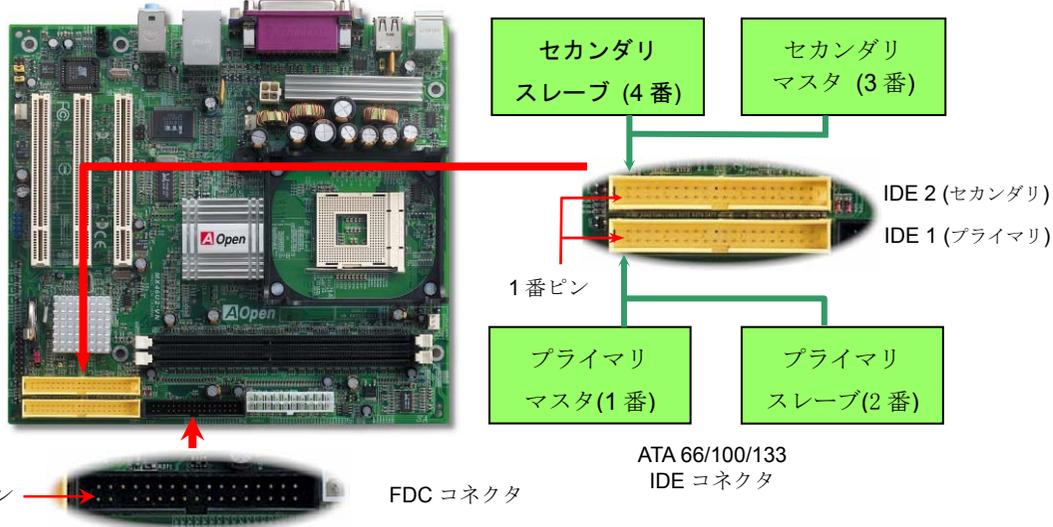
Celeron CPU	CPUコア クロック	FSB ク ロック	システ ムバス	レシ オ
Celeron 1.7G	1700MHz	100MHz	400MHz	17x
Celeron 1.8G	1800MHz	100MHz	400MHz	18x
Celeron 2.0G	2000MHz	100MHz	400MHz	20x
Celeron 2.1G	2100MHz	100MHz	400MHz	21x

警告: SIS 650GX チップセットは最大 400MHz のシステムバスをサポートしています。より高速のクロック設定はシステムに重大な損傷を与える可能性があります。

ご注意: 最近のプロセッサはクロックレシオを自動検出するので、BIOS からのマニュアル設定は出来ません

6. IDE およびフロッピーケーブルの接続

34 ピンフロッピーケーブルおよび 40 ピン 80 芯線 IDE ケーブルをフロッピーコネクタ FDC および IDE コネクタに接続します。1 番ピンの向きにご注意ください。間違えるとシステムに支障を来す恐れがあります。



8. 6 個の USB 2.0 コネクタを装備



このマザーボードには 6 個の USB コネクタがあり、マウス、キーボード、モデム、プリンタ等の USB 機器が接続できます。4 個のコネクタは、PC99 後部パネルにあります。適当なケーブルにより、USB 装置を PC99 後部パネルに、または USB 2.0 ヘッドからケースのフロントパネルに接続できます。

1			
+5V	●	●	+5V
SBD2-	●	●	SBD3-
SBD2+	●	●	SBD3+
GND	●	●	GND
KEY	□	●	NC

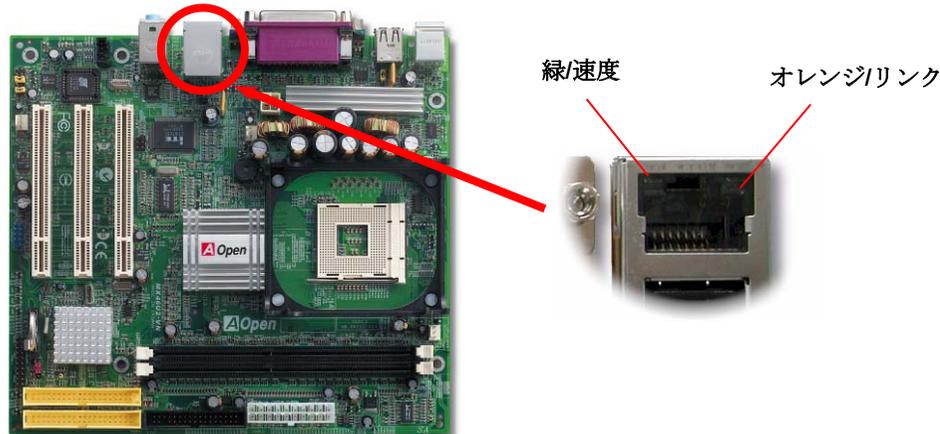
USB 2.0 コネクタ

1 番ピン



7. オンボード 10/100 Mbps LAN

サウスブリッジの SiS962L にはオンチップでイーサネットコントローラが装備されています。RealTek 8201BL PHY 高度統合化プラットフォーム LAN 接続デバイスであるオンボードの Realtek 8201BL PHY コントローラにより、オフィスや自宅での 10/100M bps イーサネットがサポートされています。イーサネット用 RJ45 コネクタは USB コネクタ上部に位置します。オレンジの LED はデータリンク表示で、ネットワーク接続時に点灯、データ転送時に点滅します。緑の LED は転送モードで 100Mbps 転送されているときに点灯します。この機能のオン・オフは BIOS 経由で容易に行えます。



9. フロントオーディオコネクタ

筐体のフロントパネルにオーディオポートが設定されている場合、オンボードオーディオからこのコネクタを通してフロントパネルに接続できます。なお、ケーブルを接続する前にフロントパネルオーディオコネクタからジャンパーキャップを外してください。フロントパネルにオーディオポートがない場合は黄色いキャップを外さないでください。

1 番ピン

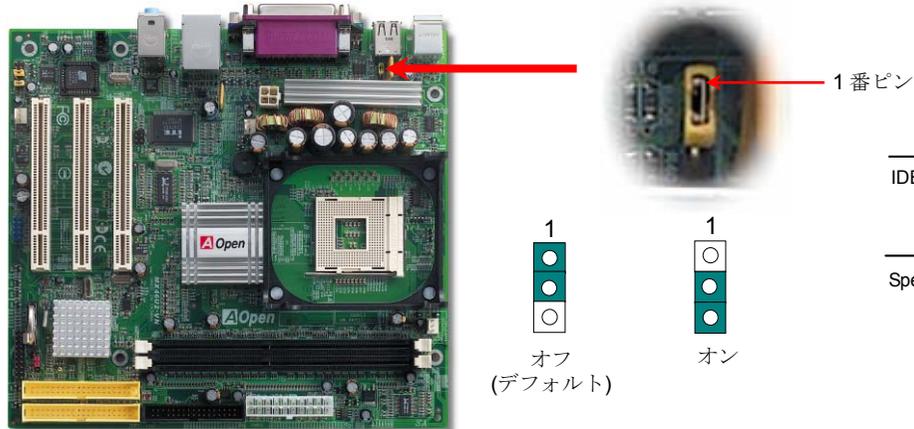
1			
AUD_MIC	●	●	AUD_GND
AUD_MIC_BIAS	●	●	AUD_VCC
AUD_FPOUT_R	●	●	AUD_RET_R
NC	●	□	KEY
AUD_FPOUT_L	●	●	AUD_RET_L

フロントオーディオコネクタ



10. JP28 キーボード/マウスウェイクアップ用ジャンパー

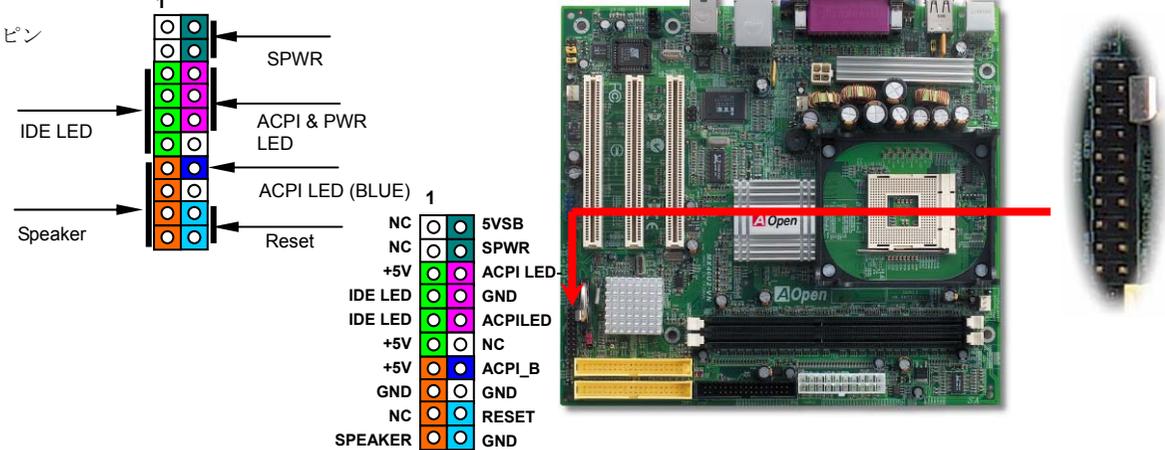
このマザーボードには PS2 キーボード/マウスウェイクアップ機能を有します。接続されている USB キーボードやマウスの動きでシステムがサスペンド状態からレジュームする機能のオン/オフには JP28 を使用します。工場デフォルト設定は“オフ”(1-2)ですが、ジャンパー位置を 2-3 にすることでこの機能がオンになります。



12. フロントパネルコネクタ

電源 LED、キーロック、スピーカー、リセットスイッチのコネクタをそれぞれ対応するピンに差しします。BIOS セットアップで“Suspend Mode”の項目をオンにした場合は、ACPI および電源の LED がサスペンドモード中に点滅します。

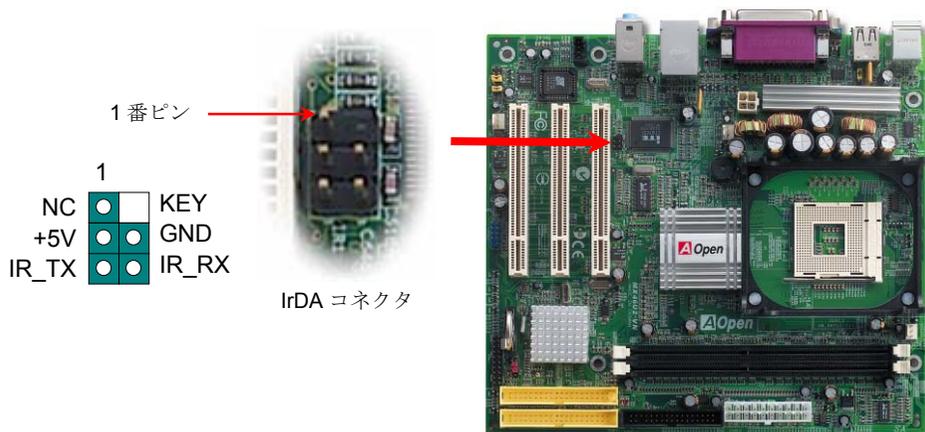
お持ちの ATX の筐体で電源スイッチのケーブルを確認します。これは前部パネルから出ている 2-ピンメスコネクタです。このコネクタを **SPWR** と記号の付いたソフトウェア電源スイッチコネクタに接続します。



11. IrDA コネクタ

IrDA コネクタはワイヤレス赤外線モジュールの設定後、Laplink や Windows95 のケーブル接続等のアプリケーションソフトウェアと併用することで、ユーザーのラップトップ、ノートブック、PDA デバイス、プリンタ間でのデータ通信をサポートします。このコネクタは HPSIR (115.2Kbps, 2m 以内)および ASK-IR (56Kbps)をサポートします。

IrDA コネクタに赤外線モジュールを接続し、BIOS セットアップの UART Mode で正しく設定します。IrDA コネクタを差す際は方向にご注意ください。



13. 電源オンおよびBIOS セットアップのロード

Del

ジャンパー設定およびケーブルの接続を終了したら、電源をオンにし、BIOS セットアップに入ります。これには POST (電源オン時のセルフテスト)中にキーを押します。“Load Setup Defaults”を選ぶと、推奨される最適な性能に設定されます。



警告: ご使用のシステムコンポーネント (CPU, DRAM, HDD 等)がターボ設定の必要条件を満たしていることが明らかでない場合は“Load Turbo Defaults”を選ばないでください。

14. Windows 環境での BIOS のアップグレード



BIOS のアップグレードは EzWinFlash を利用して以下のステップで行います。アップグレードを始める前に他のアプリケーションは全て終了させるよう強くお勧めします。

1. AOpen の公式ウェブサイトから最新の BIOS パッケージ zip ファイルをダウンロードします。ダウンロードされた BIOS パッケージ(例:WMX46U2102.ZIP) を Windows 環境では WinZip (<http://www.winzip.com>) で解凍します。
2. 解凍された WMX46U2102.EXE および WMX46U2102.BIN をフォルダに保存します。
3. WMX46U2102.EXE をダブルクリックすると、EzWinFlash はマザーボードのモデル名および BIOS バージョンを自動検知します。BIOS が一致しない場合はフラッシュ操作には進めません。
4. メインメニューから使用言語を指定し、[フラッシュ開始]をクリックすると BIOS アップグレードが始まります。
5. EzWinFlash が残りのプロセスを自動処理したあと、ダイアログボックスが表示され、Windows を再起動するか聞いてきます。[再起動する]をクリックすると、Windows が再起動されます。
6. POST 実行中にキーを押して BIOS セットアップを起動します。"Load Setup Defaults"を選び、"Save & Exit Setup (保存して終了)"します。これでアップグレード完了です。

フラッシュ処理の際は表示がない限り、絶対に電源を切ったり他のアプリケーションを起動したりしないで下さい。

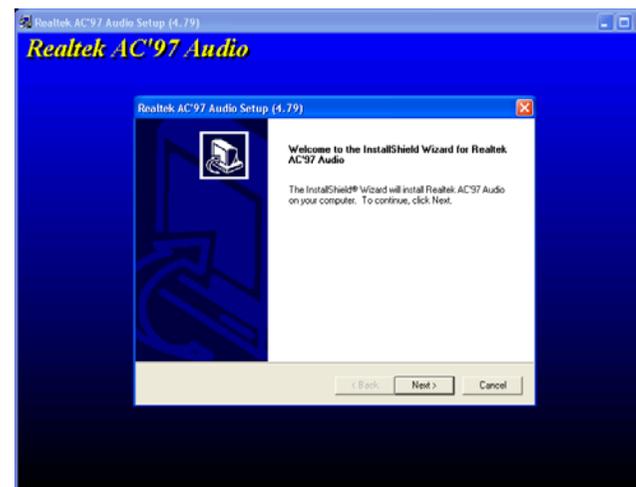
15. AOpen ボーナスパック CD

ボーナスパック CD ディスクのオートランによるメニューが使用できます。必要なユーティリティを選び、ドライバ、型式名を指定します。型式名指定後、対応した AGP、IDE、オーディオ、LAN および USB2.0 ドライバがこの CD からインストールできます。



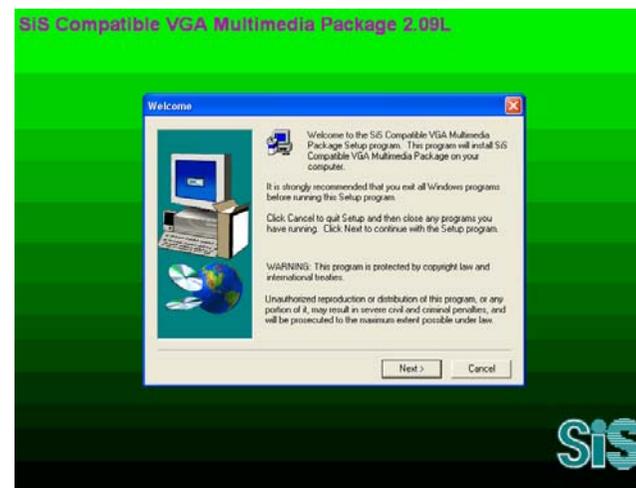
16. オンボードオーディオドライバのインストール

当マザーボードには AC97 CODEC が装備されています。オーディオドライバはボーナスパック CD のオートランメニューから見出せます。



17. オンボードVGA ドライバのインストール

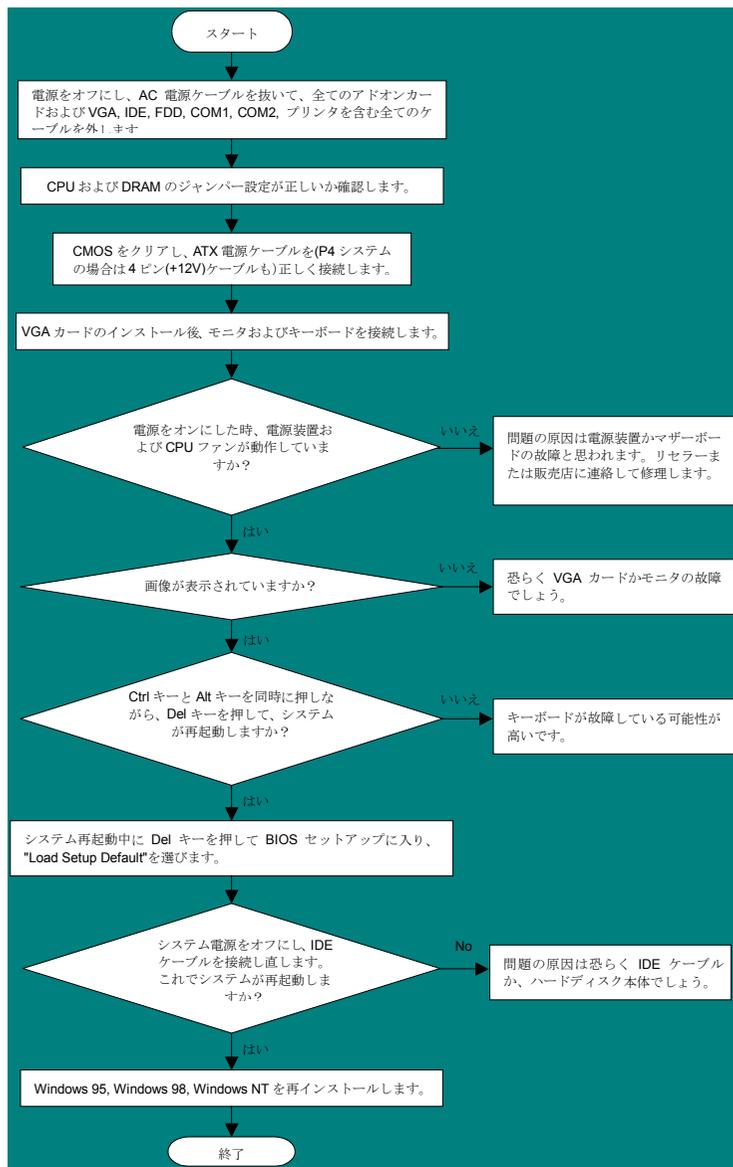
当マザーボードのチップセットには VGA エンジンが搭載されています。VGA ドライバはボーナスパック CD のオートランメニューから見出せます。





トラブルシューティング

システム起動時にトラブルが生じた際は、以下の手順で問題を解決します。



パーツ番号およびシリアル番号

パーツ番号およびシリアル番号はバーコードラベルに印刷されています。ラベルは包装の外側、ISA/CPU スロットまたは PCB のコンポーネント側にあります。以下が一例です。



パーツ No.

シリアル No.



パーツ No.

シリアル No.

P/N: 91.88110.201 がパーツ番号で、S/N: 91949378KN73 がシリアル番号です。

型式名および BIOS バージョン

型式名および BIOS バージョンは最初の起動画面 (POST 画面)の左上に表示されます。以下が一例です。

MX46U2-VN R1.00 Mar 01, 2003 AOpen Inc.

Award Plug and Play BIOS Extension v1.0A

Copyright © 2003, Award Software, Inc.

MX46U2-VNがマザーボードの型式名で、R1.00がBIOSバージョンです。



テクニカル サポート

お客様各位、

この度は AOpen 製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。お客様への最善かつ迅速なサービスが弊社の最優先するところでございます。しかしながら毎日いただく E メールおよび電話のお問合せが世界中から無数にあり、全ての方にタイムリーなサポートをご提供いたすのは困難を極めております。弊社にご連絡になる前に下記の手順で必要な解決法をご確認になることをお勧めいたします。皆様のご協力で、より多くのお客様に最善のサービスをご提供させていただきます。皆様のご理解に深く感謝いたします。

AOpen テクニカルサポートチーム一同

太平洋地域

AOpen Inc.

Tel: 886-2-3789-5888

Fax: 886-2-3789-5899

ヨーロッパ

AOpen Computer b.v.

Tel: 31-73-645-9516

Fax: 31-73-645-9604

中国

艾尔鹏国际贸易(上海)有限公司

Tel: 86-21-6225-8622

Fax: 86-21-6225-7926

米国

AOpen America Inc.

Tel: 1-510-489-8928

Fax: 1-510-489-1998

ドイツ

AOpen Computer GmbH.

Tel: 49-1805-559191

Fax: 49-2102-157799

日本

AOpen Japan Inc.

Tel: 048-290-1800

Fax: 048-290-1820

ウェブサイト: <http://www.aopen.co.jp/>

E メール: 下記のご連絡フォームをご利用になりメールでご連絡ください。

英語 <http://english.aopen.com.tw/tech/default.htm>

日本語 <http://www.aopen.co.jp/tech/default.htm>

中国語 <http://www.aopen.com.tw/tech/default.htm>

ドイツ語 <http://www.aopencom.de/tech/default.htm>

簡体字中国語 <http://www.aopen.com.cn/tech/default.htm>

